

途上国の課題解決に向けたビジネス5件を採択

01

JICAは、「途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査」の第1回公示採択案件として、幅広い分野のビジネスを選定。シリア難民及びパレスチナ自治区ガザ地区若年層のソフトウェア開発人材育成に取り組み「ヨルダン・パレスチナ自治区・ソフトウェア開発事業（株式会社モンスター・ラボ）」や、機械学習技術・AIの活用により安価で効率的な健診サービスを提供する「バングラデシュ・健診サービス事業（コニカミノルタ株式会社）」といった、開発途上国のニーズに応じた新たな手法や技術を通じてSDGsへの貢献を目指す案件を採択しました。また、小規模農家の収入向上と健康・栄養改善を目指す「ミャンマー・無農薬ハーブ・雑穀生産・販売事業（株式会社ポダレス・ジャパン）」及び「ブータン・キヌア生産・販売事業（株式会社ユーグレナ）」、僻地山間部の森林保全への貢献を目指す「ベトナム・女竹生産事業（有限会社臼井農畜産）」といった、SDGsがうたう、誰一人取り残さない、世界の実現を目指す案件も採択しました。（注：案件名はいずれも略称、カッコ内は代表提案法人名）

2015年9月に国連で採択されたSDGsは、グローバルパートナーシップ（政府、国際機関、民間企業、市民社会といった多様なアクターの連携）により包括的な課題を解決することを目指しており、特に民間企業が果たす役割に大きな期待が寄せられています。

JICAは、日本企業によるBOPビジネス（貧困層が抱える課題の

解決に貢献するビジネス）の支援を目的として、2010年に「協力準備調査（BOPビジネス連携促進）」を開始し、これまでに100件を超える案件を採択しました。新たな開発目標であるSDGsの採択を受けて、貧困層の課題にとどまらず、SDGs達成に向けて民間企業などとのパートナーシップ加速を目指して今年、新たに開始したのが、「途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査」です。

JICAはSDGsビジネス調査を通じて、これまでのBOPビジネス連携促進調査よりも広い分野で企業とのパートナーシップを推進し、JICAだけでは解決が難しい、多様な途上国の課題解決への貢献を目指しています。

民間企業でも、持続可能性を意識した経営（サステナブル経営）や環境社会、ガバナンスに配慮している企業を優先投資先とするESG投資などの潮流を受け、SDGsをビジネスチャンスと捉えて企業経営に取り込む動きが進みつつあります。SDGsの達成に向けては、日本企業が持つ技術やノウハウの貢献に一層の期待が集まっています。JICAは、ODA事業により蓄積した途上国の現地情報やネットワークを生かし、民間企業などのパートナーシップを引き続き強化していく方針です。

SDGsビジネス調査の次回（2017年度第1回）公示は9月15日で、10月16日に企画書提出締め切りの予定です。途上国でSDGsの達成に貢献する斬新なビジネスプロジェクトの応募を期待しています。

ルワンダをアフリカのイノベーション大国へ

02

JICAは7月26日、ルワンダ共和国の首都キガリで、ルワンダ政府との間で技術協力プロジェクト「ICTイノベーション エコシステム強化プロジェクト」に関する討議議事録に署名しました。本事業は、関連省庁や商工会議所など既存のICTセクター関係者に加えて、新たにICT企業、投資家、教育機関など国内外の多様な関係者の連携を通して、新規ビジネスを立ち上げるための環境強化を行うものです。

1990年代に内戦で多くの人命を失ったルワンダは、2000年代には「ICT立国」を目指してビジネス環境を整えることで国内外の投資家を魅了し、復興と高い経済成長を実現してきました。JICAはこれまで政策アドバイザー派遣による起業環境の整備や日本企業との橋渡し、人材育成なども行ってきました。ルワンダからも、多くの留学生が「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）」に参加しています。本事業により、これまでの支援の成果のさらなる普及と拡大が期待されています。



署名式で握手を交わすJICAルワンダ高田浩幸所長と、ルワンダ青年ICT省ガタライハ次官

バングラデシュ初の天然ガス輸入事業 海外投融資による支援

03

JICAは、米企業と世界銀行グループの国際金融公社（IFC）がバングラデシュに設立する特別目的会社「Excelerate Energy Bangladesh Limited（以下「Excelerate」）による液化天然ガス（LNG）輸入設備の建設・運営事業に對して、海外投融資（プロジェクトファイナンス）による貸付契約を締結しました。本融資はIFCをはじめとする三つの国際開発金融機関との協調融資です。

バングラデシュでは、過去15年で平均6%超の経済成長を背景にエネルギー需要も急増しており、2040年までは年平均5・3%の伸び率が見込まれています。中でも天然ガスによる火力発電の重要性は飛び抜けて高く、同国の発電エネルギー源の74%（2015年）を占めています。

本事業は同国初の天然ガス輸入基地の整備事業となります。Excelerateによるバングラデシュ南東部のモヘシユカリ沖合でのLNGの洋上輸入ターミナルの建設・運営を通して、安定的な天然ガス供給と、逼迫する一次エネルギー需給の早期改善を目指します。



船の形を取る浮体式LNG貯蔵再ガス化設備（提供：Excelerate）